

NMC 2月例会のご案内

寒い日が続いますが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。NMC の 2 月例会は、下記の通り開催します。今回は、石村誠人・NMC 理事による、“大江戸線環状部 12 駅見学ツアー”を少しアレンジして開催します。この企画は、5 年前にコロナウイルスが蔓延し始めるまでに 123 回開催されていました見学ツアーです。

ニュー・マネジメントクラブ理事長 小川俊成
2026 年 1 月吉日

記

1. 開催日時：2026 年 2 月 26 日（木）10：00～16：00

2. 集合場所：都営地下鉄大江戸線東中野駅改札口

（お得な交通乗車券の中で「都営まるごときっぷ」700 円を購入して 9：55 集合。東京都シルバーパス（都営交通 70 才以上）をお持ちの方は不要です。）

3. 案内人&講師：石村誠人・NMC 理事

4. 企画内容：大江戸線環状部 12 駅見学ツアー（時間の都合で 12 駅は回れないこともあります）。2025 年 12 月例会（「私の履歴書」）で時間の都合で割愛した「総合プロデュース」（企画・PR・実施・営業・販売・採算を合わせるという観点）という観点のお話を盛り込んでいただいている。

5. 参加費用：NMC 会員は無料、NMC 会員の紹介がある非会員は 500 円。申込は、NMC の HP<www.nmcnmc.jp>からお願いします。

（今回の正幹事：小川俊成）

「企画内容の詳細」（ヒアリングにより纏めました）

石村理事は、1999 年 4 月から 2004 年 5 月末まで大江戸線環境部（26 駅、27.8km）を建設する東京都地下鉄建設株總に在籍され、（1）環状部 26 駅の改札口を飾る「ゆとりの空間」という 2.7m×10m のパブリックアート作品の設置費を民間企業等から集める「寄付金集め」をされました。作品は、経済不況でお金が集まりにくい中を、工夫して 26 全駅の寄付金を集められ完成。その後、（2）「駅デザインとパブリックアート（21 世紀の地下鉄駅をめざして）」という写真集（192 頁、2,500 円）制作を企画され 1 万冊を出版され、約 9,000 冊を販売されました。写真集の出版としては稀有の黒字です。次に、（3）建設に伴い家屋等への傾きなどを補償する「沿道被害補償」が上手くいかず揉めていましたので、志願して責任者となり、10 年 40 億円と見積もっていた被害補償を 2 年半、24 億円で終わらせることにも成功されています。他にも（4）エレベーター出入口として購入していた駅近くの土地が、不要になって遊休地となっていた土地 3 点の販売もされています。都営地下鉄大江戸線（48 駅、40.8km）は、2000 年 12 月 12 日に全線開業。リニアモーター（鉄車両式）により、40m 前後の深い場所を走る地下鉄です。日本が世界に誇るシールド工法（円筒型の掘削機）ですが、建物や地盤次第で、沿線 30～50m の範囲は家屋に傾きが出ることがあり、沿道被害補償は不可欠の仕事です。環状部 26 駅は、プロポーザルコンペ方式で若手建築家等に委ねて従来にない駅舎デザインで仕上げられており、全 48 駅に「ゆとりの空間」というパブリックアートが設置されています。この駅舎のデザインとパブリックアート作品を解説付きで案内しますが、今回は上記（1）～（4）を付け加えて、解説しながら回ります。遅めのランチを汐留駅のレストランで撮り、終了後にリーゾナブルな会費で有志懇親会を開催することも検討中です。以上